

## 予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：農林水産費 項：農業費 目：農業振興費

## 事業名 県産農畜水産物輸出商社確立推進事業費 (R 8分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 輸出戦略係 電話番号：058-272-1111(内4066)

E-mail : c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 9,272千円 (現計予算額： 0千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	9,272	4,636	0	0	0	0	0	0	4,636
決定額	9,272	4,636	0	0	0	0	0	0	4,636

## 2 要求内容

## (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・県では、創生総合戦略、農業・農村基本計画において県産農産物のブランド化及び輸出の強化を重点施策として位置付け、特に重点品目である「飛騨牛」「鮎」「柿」の販路拡大に取り組んできた。
- ・一方で、県内農産物生産者からは、海外のニーズや食品の輸出に関するノウハウが不十分であり、海外への関心に反して農産物の海外展開が進んでいないとの声がある。
- ・このため、重点品目にかかわらず県産農畜水産物の供給と海外需要を結び付けることができる岐阜の地域商社育成を行う。

## (2) 事業内容

- ・農業者、加工事業者等の相談対応、輸出拡大に向けたコンサルティング
- ・海外展示会への出展、海外販売店やバイヤー等に向けたプロモーション活動の実施
- ・輸出規制や、輸出先国におけるニーズ、流通網の調査確認等
- ・令和7年度「県産農畜水産物輸出商社育成事業費」で選定した香港、台湾をターゲット国とする2事業者に加え、中東、欧米に強い地域商社を1者を育成

### (3) 県負担・補助率の考え方

輸出の拡大を目標に掲げる岐阜県にとって、県産農産物の輸出を行う地域に根付いた商社の育成は急務であり、県として実施する必要がある。。

### (4) 類似事業の有無

無し

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	84	プロポーザル審査委員報償費
旅費	188	プロポーザル審査委員旅費
委託料	9,000	事業実施委託料3,000千円×3社
合計	9,272	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）  
第4章 <基本方針3> (2) <新たな海外戦略の展開>

### (2) 国・他県の状況

国において、農林水産物の輸出を2020年までに1兆円、2030年までに5兆円とすることを目指し、国別・品目別輸出戦略を策定するなど、農林水産物の輸出拡大に取り組んでいる。

### (3) 後年度の財政負担

ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）の目標年（令和12年度）まで

### (4) 事業主体及びその妥当性

県産農産物の海外販路の開拓・拡大には県のリーダーシップが不可欠であり、県が実施主体となることは妥当。

# 事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 繙続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### (事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

地域商社のターゲット国・地域数を増やし、地域商社を軸に輸出に意欲的な生産者等が生産する飛騨牛、鮎、柿、その他様々な県産農畜水産物やそれを主原料とする加工品の販路を開拓する。

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R6)	R8年度 目標	R9年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
地域商社のターゲット国・地域数	0カ国	3カ国	3カ国	5カ国	

### ○指標を設定することができない場合の理由

（記入欄）

### (これまでの取組内容と成果)

令 和 7 年 度	・取組内容と成果を記載してください。 地域商社2社を選定し、それぞれのターゲット国である台湾、香港市場への県農畜水産物の販路拡大に向けて、輸出相談や商談会等を実施。
	指標① 目標：__2か国__ 実績：__3か国__ 達成率：__67__ %
	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__ %
	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

#### ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	・国内市場の縮小が見込まれる中、県産農産物の輸出促進及びブランド力向上のため、実施する必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	・地域商社のフォローアップにより商談が成立する案件が増加しており、大きな成果が出ている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	・地域商社の事業計画に沿って効率的に事業が進んでいる。

### (今後の課題)

#### ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

・商流構築には時間を要するため、事業を継続的に実施する必要がある。

### (次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか  
・輸出に意欲のある事業実施者は増加しており、要望に応じた支援を実施することで、県内農業等の活性化を図ることができるため、継続することが必要である。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	